

新しい区議会で代表質問

平和・暮らし・人権・民主主義を守る区政を進めよう



(写真左から) 中里光夫、坂本みえこ、川上こういち、たかじょう訓子各区議、里吉ゆみ都議

日本共産党は、4月に行われた区長・区議選で大軍拡・増税反対、賃上げと福祉の充実で暮らしを守れ、学校給食費無償化の継続など子育て支援、若者が希望を持てる社会を、と訴えてきました。

選挙後初の区議会での4年ぶりの代表質問では、選挙で区民は何を選んだのか、今後区政をどう進めるのか、保坂区長の考えをたどりました。区長は「憲法で保障された基本的人権と平和を守る役割は自治体の責務」として平和、暮らし、人権を守り、住民自治を発展させる区政の方向を示しました。

補聴器購入費 助成制度 実現へ

高齢者だけでなく18歳以上の中等度難聴者に対する 補聴器購入費助成制度

かねてより要望の大きかった補聴器の購入費助成制度。いよいよ世田谷区でも来年度実施に向けての検討が始まりました。

アフターケアまで行き届いた制度に

・世田谷区の答弁

「令和6年度からの実施に向けて検討」

「補聴器を装用する際、聞こえの状況の把握、適切な補聴器の選定及び適合調整はもとより、購入後のアフターケアも含めた丁寧な対応が必要」

日本共産党

発行：日本共産党世田谷区議団 2023年7月号

世田谷区議団ニュース

世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せください。

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

▶TEL 03-5432-2791 ▶FAX 03-3412-7480

▶Eメール kugidan@jcp-setagaya.jp

▶ホームページ <http://www.jcp-setagaya.jp/kugidan/> →



インボイス制度で苦境に立たされる 区内中小業者等の声を国へ届けよ

日本共産党は一般質問で、今年10月からのインボイス制度導入による区内中小業者や個人事業主への影響を区長はどう考えているのか認識をただし、区長会で区内業者の声をしっかりと届け議論すること、国に意見をあげることがを求めました。保坂区長は「早い段階で特別区長会で意見を言うべく準備をしていきたいと思ひます。問題提起をして議論が深められるよう取り組んでまいります。」と答弁しました。

区議会にインボイス制度の見直しを国へ求める陳情が出されました。(各会派の態度は表参照)。日本共産党は採択を主張しましたが、結果は継続となりました。

区議会に出された陳情の結果は以下のとおりです

【国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情】

共産	自民	公明	立憲・れいわ	維新・無・行革	都ファ・あらた	国際	無所属
○	△	△	○	×	○	○	△

※採択と趣旨採択○ 継続△ 不採択× 結果は継続

【介護保険利用者2割負担の対象拡大を行わないよう国に意見書の提出を求める陳情】

共産	自民	公明	立憲・れいわ	維新・無・行革	生活ネット
○	△	△	○	×	○

※採択と趣旨採択○ 継続△ 不採択× 結果は継続



区議団の体制

	役職	常任委員会	特別委員会
中里光夫	幹事長・団長	福祉保健	◎ 公共交通機関・バリアフリー対策等
たかじょう訓子	副幹事長	○ 都市整備	環境・災害・防犯・オウム問題等
坂本みえこ	政調会長	企画総務	子ども・若者施策推進
川上こういち	会計	区民生活	○ DX推進・地域行政・公共施設整備等推進

◎は委員長、○は副委員長

